

@Gallery TAGBOAT プロデュース!

<トーク連載「タカの部屋」> 開催

人気写真家 鷹野隆大が各界の著名人をゲストに迎えてインタビュー

初回は6月4日(水)ウェブUP予定! 写真家・評論家の港千尋氏が登場!
5月22日(木) BOOK246 店内(青山一丁目)にて公開トークショーを行います。

<http://www.tagboat.com/contents/event/>

マーケットアウトビジネスを創出・育成する起業専門企業の株式会社エムアウト(本社:東京都港区、代表取締役社長:田口 弘)ファインアーツ事業部において、現代アートのオンラインギャラリー@Gallery TAGBOAT(以下、タグボート)では、人気写真家・鷹野隆大氏の<トーク連載「タカの部屋」>を展開いたします。

企画趣旨

2007年4月から1年、タグボートでは鷹野隆大氏のエッセイ「たかのカメラ」をウェブ上で連載し、大変好評を博しました。今年度は、鷹野企画第2弾ということで、アート界を中心に様々なジャンルで活躍する各界の著名人をお招きし、毎回異なる切り口でアートについて語り合い、それをタグボートのサイト上にて公開することとなりました。題して<トーク連載「タカの部屋」>。第一回目は写真家の港千尋氏をゲストに迎え公開トークショーを行います。当日の様子はタグボートのサイト上でも展開して参りますので、当日お越しいただけない方にもコンテンツとしてお楽しみいただくことができます。(次回以降の対談も公開を検討しております。情報は随時公開いたします。)

このような取り組みを通じて、多くのお客様にアートをより身近に感じていただき、楽しんでいただける環境を、オンラインギャラリーであるタグボートが先駆者として作り出していきたいと考えております。

イベント内容

<トーク連載「タカの部屋」>

第1回 公開トーク 鷹野隆大 × 港千尋 「反権力」

テーマ:放浪の写真家・港千尋氏にカメラという「武器」を手にしたきっかけ、その効用を尋ねる。また、二人の共通の恩師である「反権力」の美術批評家、坂崎乙郎氏を偲びつつ、語りあう。

日時: 5月22日(木) 19:30~21:00 (受付:19:00~)

場所: BOOK246 店内 (東京都港区南青山1丁目2-6 Lattice aoyama1 階/tel:03-5778-6899)

料金: 500円 (ワンドリンク付)

ご予約: タグボートサイトからお申込みをお願いいたします。

申込みサイトはこちら: <http://www.tagboat.com/contents/event/>

何かご質問等ございましたら、お気軽にお問合せください。 0120-39-8618 (タグボートカスタマーセンター)

■プロフィール

鷹野 隆大(タカノ リュウダイ) 写真家。

1963年福井市生まれ、1987年早稲田大学政治経済学部卒業。1994年より作品を発表。2006年写真集『IN MY ROOM』(2005年 蒼穹舎)にて第31回あ 木村伊兵衛写真賞受賞。

セクシュアリティをテーマに他者との関係性を問い直す作品を発表している。

個展 2000年「ヨコたわるラブ」(ツァイト・フォト・サロン、東京)、2006年「In My Room」(ナディフ、東京)、2006年「男の乗り方」(ツァイト・フォト・サロン)など。グループ展に2001年「手探りのキス 日本の現代写真」(東京都写真美術館 他)、2004年「日常の変貌」(群馬県立近代美術館)ほか海外でも展覧会多数。パブリック・コレクションとして、東京都写真美術館、国際交流基金、川崎市市民ミュージアム。

作品集として、『IN MY ROOM』(2005 蒼穹舎)、『鷹野隆大 1993-1996』(2006 蒼穹舎)。

2008年度の展覧会として、個展「ばらばら」(6/6-7/3 ツァイト・フォト・サロン、東京)、グループ展「液晶絵画」(4/29-6/15 国立国際美術館、大阪、8/23-10/13 東京都写真美術館、東京)他。

港千尋(ミナト チヒロ) 写真家・批評家・キュレーター。

1960年神奈川県生まれ。1984年早稲田大学政治経済学部卒業。

世界を移動しながら、写真、映像、メディア、テクノロジーなど幅広い分野についての考察を深め、映像人類学の視点などから、「記憶、映像」等を主題とし、創作・批評活動を行っている。1995年より多摩美術大学情報デザイン学科教授。2002-2003年度、オクスフォード大学とパリ大学で客員研究員を務める。アジア各地の映像作家やアーティストを日本に紹介する展覧会を開催するなど、キュレーターとしての顔も持つ。2007年に行われたヴェネチア・ビエンナーレでは、日本館コミッショナーを務めた。

主な作品集に『波と耳飾り』(新潮社 1994)、『明日、広場で-ヨ-ロッパ 1989-1994』(新潮社 1995)、『文字の母たち Le voyage typographique』(インスクリプト 2007)など。

主な著作に『写真という出来事』(河出書房新社 1998)、『予兆としての写真-映像原論』(岩波書店 2000)、『洞窟へ一心とイメージのアルケオロジー』(せりか書房 2001)、『影絵の戦い』(岩波書店 2005)など。

■今後のスケジュール

※あくまで予定ですので、都合により変更する場合がございます。ご了承ください。

サイト公開	ゲスト	タイトル	内容
8月	笠原美智子氏 (東京都写真美術館事業企画課長)	「いい男論」	レオン・ライを巡って、エロスの着火点を探る。
10月	山本想太郎氏 (建築家)	「サッカーはアートを救えるか」	プロレスやサッカーと建築(あるいは写真)の関係について探る。
11月	竹内万里子氏 (写真評論家)	「パリフォト 現地レポート」	パリフォトの今年の特集は「日本」。ゲストキュレーターを務めた写真評論家の竹内氏に話を伺う。

11月以降のゲストとして、ヴィヴィアン佐藤氏(非建築家)、宮村周子氏(ライター)、会田誠氏(美術家)を予定しています。

企画協力: Yumiko Chiba Associates / Zeit-Foto Salon

ファインアーツ事業部「@GALLERY TAGBOAT」について

ファインアーツ事業部「@GALLERY TAGBOAT」は、価格形態や流通などで不透明な部分が多いとされるアート業界において、初心者の方でも安心して本物のアート作品を購入できるインフラの提供を目指し、『絵画の世界に新しいスタンダードを。アート市場、オープン&フェア宣言』をサービスコンセプトとして事業活動を行っております。

株式会社エムアウトについて

エムアウトは、「起業専門企業」として「マーケットアウト」の理念のもと、現在3つの事業を展開しております。

「マーケットアウト」とは、「プロダクトアウト」のまったく逆の発想から生まれた概念です。我々は、お客様が本当に求めている商品・サービスを提供していきます。

マーケットアウトの視点で立ち上げた新事業を、エムアウトの持つ経営ノウハウや資金、情報、人材を活用して成功へ導き、自立した事業会社として社会に送り出すことを目的とし、我々は「起業専門企業」として日々邁進しております。マーケットアウトに基づく新事業を創出・育成することにより、豊かで活気に満ちた新しい社会づくりに貢献することを使命としています。

本プレスリリースに関する報道関係者のお問い合わせ先

■株式会社エムアウト 広報担当: 井川沙紀・松宮晶乃

TEL: 03-5412-8610/FAX: 03-5412-8615 email: pr@m-out.com

会社概要

- 会社名 : 株式会社エムアウト <<http://www.m-out.com/>>
- 代表者名 : 代表取締役: 田口 弘
- 設立 : 2002年10月
- 所在地 : (本社) 東京都港区南青山2-11-16 AIG 青山ビル
- 連絡先 : TEL: 03-5412-8610/FAX: 03-5412-8615
- 資本金 : 5,000万円
- 業務内容 : ファインアーツ事業、アイデクト事業、キッズベースキャンプ事業
- ホームページ : <http://www.m-out.com/> <http://www.tagboat.com/>